【自主シンポジウム】

自主シンポジウムの書き方（１５ポイント　センタリング）

―サブテーマ（必要に応じて記入。不要の場合，1行削除）―（１２ポイント　センタリング）

（１行アケル）

企画者：企画　太郎　　司会者：司会　花子

　　　　 （所属）　　　　　　　（所属）

話題提供者：話題　提供男　　話題　提供子　　話題　テイキョウ

　　　　　　　（所属）　　　　（所属）　　　　（所属）

指定討論者：指定　討論

　　　　　　　（所属）

（1行アケル）

Key Words：キーワード，主なもの，３つ程度

（1行アケル）

1. 企画趣旨（見出しはＭＳゴシック　１0ポイント）

企画趣旨を明確にするために，まずは現状や課題等について示す必要がある。ただし，そのテーマが大きすぎると議論の論点がぼやけてしまうことにもなるので，焦点を絞り，シンポジウムを通じて議論したい話題を明確にする必要がある。

次に，企画趣旨に対して，それぞれの話題提供者がどのような立場からどのように取り組んだのかの概要を示すことより論点を明確にする。

このように，シンポジウムでの論点を明確にし，参加者の思考を促進し，意見表明などを促すことを目的として，「企画趣旨」を簡潔かつ明瞭に示す。

1. 話題提供（見出しはＭＳゴシック　１0ポイント）

話題提供者１のタイトル（ＭＳゴシック　１0ポイント）

（所属と話題提供者の名前，右づめ）所属　話題　提供男

それぞれの話題提供者は，自主シンポジウムの企画趣旨，シンポジウムで議論したいと考えていることに基づいて，実践やそこから得られた知見や課題などについて，簡潔かつ明瞭に論じる必要がある。

適宜図表を用いたり，先行研究を引用したりすることもできるが，それは特に求められるものではなく，むしろ自主シンポジウムでの論点について，その議論がより深まるような実践的な効果や課題について示すことが求められる。つまり，現状から考えられる課題に対して実践を試み一定の成果を得たが，新たな課題が抽出されたので，その課題に対してシンポジウム参加者と考えていきたいという趣旨が伝わることが重要である。

なお，図表を用いる場合は，発表論文集執筆要項に基づいて，本文に直接貼り付ける。

話題提供者２のタイトル（ＭＳゴシック　１0ポイント）

（所属と話題提供者の名前，右づめ）所属　話題　提供子

話題提供者は，適宜打ち合わせを行い，企画趣旨に基づいた内容，シンポジウム参加者がその意図を理解し議論しやすい内容になっているかを確認する必要がある。

また，A4で2枚分の紙面に収められるように，企画者が中心になって調整しなければならない。

このように，企画者は，話題提供者及び司会者，指定討論者とともに随時ミーティングを行い，趣旨に沿った内容になっているか，当日の議論につながるものになっているかを調整する責任がある。

話題提供者３のタイトル（ＭＳゴシック　１0ポイント）

（所属と話題提供者の名前，右づめ）所属　話題　テイキョウ

引用文献

引用文献と参考文献は基本的に異なる。参考にはしたが本文中には出てこない文献，すなわち参考文献は掲載しないのがルールである。

　引用文献については文中では，著者名（西暦）で示すのが一般的である。引用したすべての文献について，著者のアルファベット順で明記する。論文の場合は，著者・論文名・雑誌名・巻・年・頁，単行本の場合は，著者・書名・発行所・年を必ず明記する。なお，自主シンポジウムに関しては，引用文献の掲載は任意であるが，必要に応じて主要引用文献を掲載してもよい。